

# 平成19年7月分電力需給状況

## 需要の概要

平成19年7月の販売電力量は、24億3千3百万kWh時、前年比 99.9%となった。

### 〔需要の内訳〕

家庭用などの「電灯」は、7月の気温が前年に比べ低めに推移し、冷房需要が減少したことなどから、前年比 99.0%となった。

事務所ビル・大型商店などの「業務用電力」は、「電灯」と同様の気温要因などから、前年比 98.6%となった。

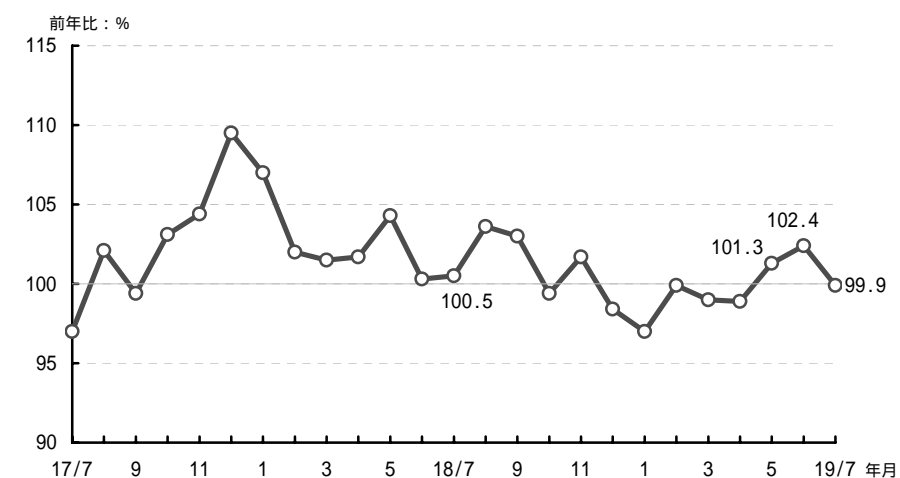
産業用の「大口電力」は、紙・パルプ、鉄鋼などが前年を上回ったことから、前年比 103.8%となった。

## 需要実績

		電力量	前年比
特定規模需要 以外の需要	電 灯	702	99.0
	電 力	173	97.0
	計	875	98.6
特定規模需要 (自由化対象)	業務用電力	627	98.6
	産業用電力	931	101.9
	うち大口電力	(707)	(103.8)
	計	1,558	100.6
販売電力量 計		2,433	99.9
融 通		628	108.4

注：特定規模需要は、特別高圧電力および高圧電力の合計。

(参考1) 販売電力量の前年比の推移



## 大口電力の主な産業別内訳

	電力量	前年比		
		19/7月	19/6月	19/5月
紙・パルプ	133	110.5	113.9	106.1
化 学	134	101.3	96.8	98.1
鉄 鋼	76	109.9	94.0	112.2
機 械	159	101.0	100.8	100.2
そ の 他	205	101.4	103.3	108.2
合 計	707	103.8	102.1	104.4

(参考2) 4県都平均気温

	19/6月				19/7月			
	上旬	中旬	下旬	月平均	上旬	中旬	下旬	月平均
	実 績	21.3	22.8	26.0	23.4	24.7	25.2	27.6
平年差	0.2	0.3	2.5	0.9	0.6	1.3	0.1	0.6
前年差	0.7	0.7	1.7	0.1	0.9	2.3	0.1	1.0

## 供給の概要

- 原子力は、前年の定期検査の反動により、前年比 122.5%となった。
- 水力は、前年の豊水の影響により、前年比 88.9%となった。
- 火力は、原子力の増などにより、前年比 86.0%となった。

## 供給実績

	電力量	前年比	備 考
原子力	( 43) 1,527	122.5	出水率 119.3%  (18年7月出水率 125.2%)
水 力	( 14) 481	88.9	
火 力	( 43) 1,506	86.0	
新エネ	( 0) 17	179.6	
発受電計	(100) 3,531	99.5	
その他	53		
供 給 計	3,478	99.7	

注：( )内は構成比

(参考3) 各県別の需要状況

	徳 島	高 知	愛 媛	香 川
販売電力量計	(100.1) 555	( 98.3) 409	(100.5) 838	( 99.9) 631

注：( )内は前年比